

8月の野菜の見通し

品目	区分	入荷量(t)			単価(円/kg)			山形県産前年実績		コメント
		前年実績	前年比見込(%)	5カ年平均	前年実績	前年比見込(%)	5カ年平均	前年入荷量(t)	前年占有率(%)	
だいこん		9,800	95	9,838	68	115	87	1	0.0	北海道、青森産中心の入荷で全体の約9割を占める。北海道は概ね生育は順調に推移しているが、作付面積が減少しているため、入荷量は前年より少なくなる。青森は生育順調で、上旬から中旬にピークとなる。全体の入荷量は前年をやや下回り、価格は前年をかなり上回るものの平年よりは低くなる見込み。
にんじん		7,098	90	6,388	96	141	139	-	0.0	北海道産中心の入荷で全体の約8割を占める。北海道は降雨の影響により、5月前半の播種作業ができず、8月上旬の入荷量は前年より少なくなる。ただし、中旬以降は生育順調で、前年並みの入荷となる。全体の入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年を大幅に上回るものの平年よりは低くなる見込み。
はくさい		5,682	95	5,793	59	119	74	-	0.0	長野産中心で全体の約9割を占める。長野は高温干ばつの影響により、一部で肥大の遅れや軟腐病等の発生が見られる。全体の入荷量は前年やや下回り、価格は前年を大幅に上回るものの平年よりは低くなる見込み。
キャベツ類		15,491	95	15,658	54	130	71	-	0.0	群馬、岩手産中心の入荷で全体の約9割を占める。群馬は生育、結球肥大とも順調で前年並みの入荷となる。岩手は干ばつの影響でやや小玉傾向となっている。全体の入荷量は前年をやや下回り、価格は前年を大幅に上回るものの平年並みとなる見込み。
ねぎ		4,312	95	4,269	207	155	274	175	4.1	茨城、青森、北海道、秋田、千葉産中心の入荷で全体の8割を占める。茨城は高温干ばつの影響により、細物比率が高くなっている。青森は概ね生育は順調で、7月末から出荷開始となる。北海道は定植期の低温、日照不足、その後の高温干ばつにより、生育は7～10日ほど遅れている。全体の入荷量は前年をやや下回り、価格は前年を大幅に上回る見込み。
きゅうり		9,301	95	8,241	178	129	237	371	4.0	福島、岩手、秋田の東北産が市況をリードする。東北産は7月に入ってから曇雨天が続いているため、地域によっては生育障害等がでていところもあり、入荷量は前年より少なくなる。全体の入荷量は前年をやや下回り、価格は前年を大幅に上回るものの平年よりは低くなる見込み。

8月の野菜の見通し

品目	区分	入荷量(t)			単価(円/kg)			山形県産前年実績		コメント
		前年実績	前年比 見込 (%)	5カ年 平均	前年実績	前年比 見込 (%)	5カ年 平均	前年 入荷量 (t)	前年 占有率 (%)	
トマト		11,413	90	9,525	245	122	296	305	2.7	青森、福島、北海道、群馬産中心の入荷となる。青森は7月中旬の天候不順により、一部で着果不良や病害の発生が見られるところもあり、入荷量は前年をやや下回る。福島は概ね生育順調で、着果状況も良好である。全体の入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年を大幅に上回るものの平年並みとなる見込み。
えだまめ		2,166	94	2,037	566	101	642	435	20.1	群馬、山形、秋田産が中心となる。群馬は早生品種が乾燥の影響により出荷量が少なくなったが、それ以降の品種の生育は順調であり、8月の入荷量は前年並みとなる。秋田は生育がやや遅れ気味であるが、入荷量は前年並みとなる。山形は7月中旬の集中豪雨の影響により生育障害や莢の肥大不足等が見られ、入荷量は前年より少なくなる。全体の入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年並みとなる見込み。